

CPM ペレットミル



CPM ペレットミルとは

ペレットとは“造粒物”のことで、ここでは粉体を円柱状の固形粒に抽出加工されたものをさします。ペレット化によりもたらされる効果は以下の通りです。

→木質ペレット専用ページへ



(1) 加工後、減容し高比重がアップ

- 保管費と輸送費の節減が可能。
- 加工品の流動性が増し、貯蔵ビン排出時のブリッジが解消される。
- 飼料、餌料においては自動給餌が、有機肥料では機械自動施肥が容易となり、省力化が図れる。

(2) 加工された飼料、餌料は…

- 家畜の好むサイズに成型できる。
- 嗜好性、消化吸収、飼料効率が向上する。
- 造粒加工時に生ずる熱により雑菌の処理、即ち過熱殺菌がなされる。

(3) 成分の分離を防止

- 複数の原料の混合物は粉体状の場合、成分の分離が生じやすいですが、ペレット化により成分の分離がなくなります。これは飼料、餌料及びその他の応用においても重要な要素です。

(4) 粉の場合に比べて、肥料の施肥や家畜への飼料給餌時の飛散ロスがない。



- ペレットミル専門メーカー
- ペレット製造技術において世界一
- ペレットミル稼働台数世界一
- 創業 100 年以上
- 国内の飼料用ペレットミルのシェアは 80%以上
- 専任のメンテナンス部隊が保守、点検実施
- 国内販売で 50 年以上の歴史

ペレットミル各種タイプ

シリーズ	型 式	ダ イ			メインモーター (HP)
		内 径 m/m	有効幅 m/m	有効面積 cm ²	
1100	1112-2	305	57	545	25~40
シリーズ	1112-4	305	100	958	40~50

	1116-3	406	83	1054	50~60
	1116-4	406	116	1479	60~100
2000 シリーズ	2016-3	406	83	1054	75~100
	2016-4	406	116	1479	100~125
3000 シリーズ	3016-4	406	116	1479	100~150
	3020-4	508	112	1800	125~175
	3020-6	508	155	2482	150~200
	3022-6	572	155	2792	175~200
7700 シリーズ	7722-6	572	155	2793	200~250
	7726-7	673	180	3805	225~300
	7730-6	762	155	3723	225~300
	7730-8	762	209	5013	250~300
7900 シリーズ	7930-6	762	155	3723	250~300
	7930-8	762	209	5013	300~400
	7832-9	826	240	6219	400~450
	7932-11	826	275	7136	400~450
9000 シリーズ		1062	300	10,000	450~800

ギア駆動方式



25馬力小型機から500馬力の大規模生産機までCPM機はギア駆動方式を採用。ギアドライブによる安定したパワートランスミッションにより造粒しにくい原料の加工や、長時間の過酷な運転を可能にしています。100mmを超えたダイ厚の取付可能。ベルト駆動方式に比べ10%以上の省電力。

リニエーター（ロール遠隔自動調整システム）



運転中にダイとロールのギャップを外部から自動調整できる装置です。エアーモーターを採用した機械式のため、原料の流れ込むダイ内に油圧配管等がなく、故障が少ないのが特徴です。

ダイ&ロール



CPM ペレットミルの用途

用途	原料
動物育成用配合飼料	鶏、豚、牛、その他動物用配合飼料 実験用動物用飼料
単品飼料	ビートパルプ、牧草、ビール粕、シュガーケーン、コーンコブ 牡蠣ガラ、ガーリック、醤油粕、焼酎粕、シトラスパルプ
各種原料	ビールホップ、大豆粕、大豆皮、タピオカ、ふすま
養殖魚用餌料	淡水、海水養殖魚用餌料
食品加工廃材	おから、野菜くず、魚、食肉
薬剤入り飼料	ミネラル、ガーリック、カルシウム粉末
肥料	菜種粕、魚粕、魚粉、鶏糞、豚糞、牛糞、コンポスト 有機肥料、生ゴミ、骨粉、汚泥
燃料	都市ゴミ、廃プラスチック、木くず、おがくず、樹皮、紙 製紙スラッジ、各種汚泥、塗料かす、廃パチンコ台 繊維くず、石灰粉、布、各種プラスチックフィルム
工業製品	触媒、カーボン、ゼオライト、再生プラスチックフィルム PET フィルム
その他	焼却灰、コーヒー粕